

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2007年度 ～ 2010年度

課題番号：19592482

研究課題名（和文）

CAIによる、小児がんの子どもの治療への主体性を高める疾患別援助プログラムの作成

研究課題名（英文）

DEVELOPMENT OF NURSING PROGRAM TO PROMOTE AUTONOMY OF CANCER CHILDREN BY USING COMPUTER AIDED INSTRUCTION (CAI)

研究代表者 小川 純子

（淑徳大学・看護学部・講師）

研究代表者の専門分野：看護学

科研費の分科・細目：臨床看護学

キーワード：看護学、主体性、小児がん、CAI

1. 研究計画の概要

本研究の最終目標は、「小児がんの子どもが病気を自分のこととして捉え、自分が受ける処置や自分の生活を選んだり、決めたりすることができるように援助すること」である。その一つの方法として現代の子どもの興味を引きやすい、また馴染み深いComputer Aided Instruction (CAI)を用いた援助プログラムを作成する。

まず、(1)小児がんの子どもが、苦痛を伴う治療を主体的に乗り越えることを促す看護援助に関して病院の看護師を対象に郵送により実態調査を計画する。次に、(2)実態調査の結果と、千葉県下の小児がんの子どもの看護の経験のある看護師による専門家会議を通して疾患別のCAIの内容を検討し、プログラムを使用した介入を実施する。疾患は、〔白血病〕〔固形腫瘍（神経芽腫など手術あり）〕〔脳腫瘍（手術&放射線）〕の3種類程度を予定している。

2. 研究の進捗状況

2007年12月～2008年5月にかけて、治療への子どもの主体性を高めるために、看護師が行っている援助の工夫と主体性を高める援助に関して難しいと感じることに関して面接調査を実施した。

また、実際に子どもに病気や治療を説明するのは医師であるため、計画段階では予定していなかったが、医師に対しても同様の調査を実施し、医師と看護師の関わりの工夫や医師が看護師に望むことなどについて検討し

た。

2008年12月より「血液腫瘍の子どもと固形腫瘍の子どもと親が必要としている病気や治療に関する説明内容と説明する時期について」調査中である。平行して、インターネットを用いた情報発信に向けて準備をすすめている。

3. 現在までの達成度

③やや遅れている。

当初の予定では、〔白血病〕〔固形腫瘍（神経芽腫など手術あり）〕〔脳腫瘍（手術&放射線）〕の3つの疾患別プログラムを検討していたが、脳腫瘍は症例も少なく個別性が高いため、現在は〔白血病〕〔固形腫瘍（神経芽腫など手術あり）〕の2つの焦点を絞って検討中である。また、疾患や入院に関する情報としては、重なる部分も多いため、情報提供としては、治療や処置別に作成することとした。

また計画した時には、看護師への調査と専門家会議のみからCAIの内容を検討し、プログラムを使用した介入を実施する予定であったが、医師への調査や子どもと親への調査を加えたため、研究期間内での介入とその評価が難しい現状である。

4. 今後の研究の推進方策

現在、ホームページを作成し、子どもの主体性を高めるために必要な子どもと家族への情報提供と入院中の痛みや吐き気などを記録する日記などを広く看護職が使用できるように準備している。

最終年度で、子どもと家族への情報提供の内容と、看護職向けの関わりのマニュアルを完成する予定である。

介入によるプログラム修正、精練までは出来ないが、ホームページを継続することで、科学研究終了後にも本研究結果を用いた援助プログラムの洗練につとめていきたい。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計3件)

- ① 小川純子、遠藤数江、佐藤奈保、荒木暁子、小児がんの子どもの治療への主体性を高める援助に関する医師の認識、淑徳大学看護学部紀要、創刊号、25-34、2009、査読有
- ② 伊藤奈津子、小川純子、鈴木恵理子、小児がんの子どもの治療に関する主体的な行動を促す医療者の援助に関する文献的考察、淑徳大学看護学部紀要、創刊号、45-54、査読無
- ③ 小川純子、中村美和、遠藤数江、金丸友、佐藤奈保、中村伸枝、小児がんの子どもが治療に伴う痛みに主体的に関わるための Computer Aided Instruction(CAI)の作成の検討、小児がん看、3巻、54-62、2008、査読有

[学会発表] (計3件)

- ① 小川純子、遠藤数江、佐藤奈保、中村伸枝、入院している小児がんの子どもの治療への主体性を促す援助に関する看護師の認識、小児がん 45 巻プログラム・総会号、P260、2008年11月24日
- ② Ogawa J.、Endo K.、Araki A.、Sato N.、Nakamura N.、Doctor's Perceptions of promoting Autonomy in Children with Solid Tumors. Advances in Neuroblastoma Research 2008, 2008/5/24
- ③ Ogawa J.、Endo K.、Araki A.、Sato N.、Nakamura N.、Nurses' Perceptions of Promoting Autonomy of Hospitalized Cancer Children, SIOP2008, Berlin, 2008/10/4